

大雪に伴う農作物等の技術対策

福島県農林水産部研究技術室

12月25日以降の大雪により、会津地方を中心にパイプハウスの倒壊や破損等の被害が発生しました。早急に被害状況を確認するとともに、被害の状況に応じた事後対策を実施しましょう。また、平成22年12月27日16時、福島地方気象台から「強い冬型の気圧配置に関する福島県気象情報（第1号）」が発表されましたので、引き続き施設の雪下ろし等の管理を徹底し、被害の未然防止に努めましょう。

【本文】(抜粋)

12月30日には低気圧が日本付近を急速に発達しながら進み、12月31日には日本の東に達し、その後、強い冬型の気圧配置となるでしょう。このため、12月31日から1月2日頃にかけて会津や中通りの山沿いを中心に風雪が強まり大荒れの天気となるおそれがあります。

福島県では、12月31日から1月2日頃にかけて、暴風や高波及び大雪に警戒・注意して下さい。

1 施設の管理

(1) 施設の除雪

施設の屋根や側面に積雪がある場合は、安全性を確認して速やかに除雪を行いましょ

う。除雪を行う場合は、ハウスの両サイドの雪をある程度取り除いてから上部にたまった雪を下ろし、再度除雪するようにします。なお、ハウスの片側だけ除雪すると倒壊するおそれがあるので、両側から均等に除雪するようにしましょう。

特に、古い被覆資材は滑りが悪いので、優先的に除雪して下さい。

なお、短時間に多量の降雪があり、雪下ろしが間に合わない場合は、被覆資材を切るなどして施設の倒壊を防ぎましょう。

これらの作業にあたっては、十分安全を確保しながら行ってください。また、できるだけ1人での作業は避け、相互に安全確認をしながらグループで作業を行って下さい。

除雪作業時の留意点

除雪作業時の留意点については、農業技術情報第17号（平成22年12月27日発行）を参考にして下さい。

URL：<http://www.pref.fukushima.jp/keieishien/kenkyukaihatu/gijyutsufukyu/seiikugijyutsujyohou.html>

(2) 施設の補強

パイプハウスは、降雪前に中柱や筋かいで補強します。

また、強風対策として、被覆資材の隙間やゆるみがないように点検し、杭やハウスバンドによる押さえを強化します。

(3) 事後の施設点検と補修

降雪後はハウスや被覆資材各部の損傷、ゆるみ、たるみ等を点検し、必要に応じて補修を行います。特に、主管をつなぐジョイントや専用金具がゆるんでいる場合が多いので、確認してください。

2 園芸加温施設

ボイラー等加温機械の定期的な点検を励行し、安全管理を徹底します。
加温機械周囲の除雪を励行し、排気ガスの逆流等を防止します。

3 作物別の対策

(1) 野菜・花き（共通）

パイプハウス骨材の曲がりや被覆資材の破損が一部にとどまり、残った作物の栽培が可能な場合は、速やかに補修及び補強を行うとともに、内トンネルやべたがけ等で被覆するなどの保温対策を実施してハウス内の作物の最低温度を確保しましょう。

作物栽培中のパイプハウスが倒壊した場合には、作物に大きな障害が考えられますが、いちごやほうれんそう、トルコギキョウなど、品目や生育ステージによって回復が可能な場合もありますので、必要に応じて最寄りのJAや農林事務所に相談しましょう。

パイプハウス骨材・被覆資材の撤去や修復は、降雪が治まるのを待って安全性を十分に確保してから行いましょう。

(2) 果 樹

ア 樹体被害等の防止対策

果樹棚上や樹体に着雪が多い場合は、早急に雪下ろしを実施しましょう。枝が雪に埋没している場合は、雪の沈降が進まないうちに掘り出します。また、雪が固まっている場合は、沈降力を軽減させるため周囲に切込みを入れて溝を作ってから掘り出します。

イ 樹体被害等を受けた場合の対策

主幹部が裂開した場合には、できるだけ早急に支柱を添えカスガイやボルトで止めて接合します。また、大枝が折損した場合は、折れた部分からやや基部の健全な部分で切り戻します。さらに、傷口から病害などが侵入しやすいので、傷口の保護に努めます。

果樹棚のワイヤー等が破損した場合は、速やかに修復や補強を実施しましょう。

4 畜産の対策

(1) 畜舎及び施設

積雪による畜舎等の倒壊を防止するため、積雪の状況に応じ畜舎軒下等の除雪を行います。特に、ハウス式の畜舎や堆肥処理施設等の簡易施設は除雪作業をこまめに実施し、積雪による倒壊等の被害を防止してください。

低温時には、水道管やサイレージの凍結が心配されるため、凍結防止対策を適切に行ってください。また、バークリーナーや搾乳機器などの凍結によるトラブルも心配されるので、入念に点検してください。

畜舎は換気が不十分になるので換気扇、窓の開閉をこまめに実施して、空気の汚染によって生産性が低下しないようにしましょう。

(2) その他

大雪により交通網が寸断されることが予想されるため、飼料の在庫確認と購入手当を早めに行いましょう。

また、生乳や鶏卵等の畜産物、肉牛や肉鶏等の家畜等の集出荷路線の確保に万全を期してください。